

# 免疫力を高めて病気に打ち勝つ力を養い がん患者の生活の質を向上させる

## 「RBS米ぬか多糖体」

免疫力を高める  
食品を活用すべし

私たちの体には、侵入した細菌やウイルスを退治したり、体内で発生したがん細胞などを攻撃して無害化したりする「免疫」の働きが備わっています。しかし、免疫力が低下すると、カゼやインフルエンザなどの感染症、がんや白血病などの悪性腫瘍による病気、糖尿病や高血圧などの生活習慣病にかかりやすくなります。

したがって、免疫力を高く保つことが、病気を防ぐうえで、極めて重要といえます。免疫力を低下させないためには、ストレスをためない、バランスのよい食事と適度な運動を心がけると同時に、免疫力を高める作用を持つ食品を活用することも有効です。

また、一度かかった病気が治りにくくなったり、重症化しやすくなったりすることも、わかっています。

これは、米ぬかに含まれる「ヘミセルロースB」という多糖類を、人体でも吸収しやすいように分解した物です。

私は、15年以上前から、免疫力を高める食品として、酵素分解による良質な「RBS米ぬか多糖体」をお勧めしています。

以前から、米やトウモロコシ、小麦など、イネ科の植物に含まれるヘミセルロースBには、強い免疫増強作用があると知られていました。



ヘミセルロースBを吸収しやすとした「RBS米ぬか多糖体」

その問題を解決し、強い免疫増強作用はそのままに、吸収しやすとした物が、「RBS米ぬか多糖体」です。

RBS米ぬか多糖体には、分子が大きな物と、小さな物の2種類が含まれています。

分子の小さな物は、腸管で吸収されて、血液に乗って全身を巡り、血液中の免疫細胞を活性化します。

一方、腸で吸収されない大きな物は、腸管を通りながら腸壁を刺激し、腸の免疫力を高める働きをします。しかも、良質な多糖体なので、腸壁の傷を即効で修復します。

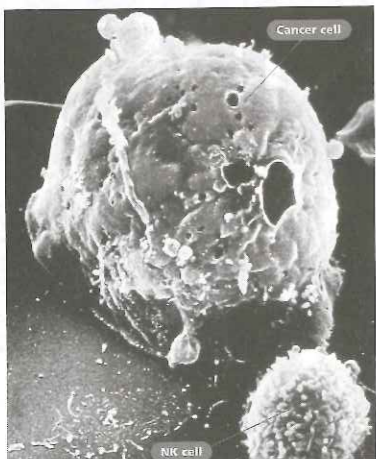
腸には全身の約60%の免疫細胞が存在し、消化器官であると同時に人体で最大の免疫器官でもあります。大きさの違う2種類のRBS米ぬか多糖体の成分が、腸のパイエル板を刺激して、免疫細胞を増やすのです。

細胞が修復される際の栄養にもなる

特に力を発揮するのは、がん細胞を集中的に攻撃するNK細胞の活性化です。

しかも、RBS米ぬか多糖体には、がん細胞が退治されたあとに周囲の細胞が修復される際の栄養にもなるという、うれしい働きがあります。

「抗がん剤や放射線治療の副作用



NK細胞（右下）は、免疫力を担うリンパ球の一つ。ウイルス感染細胞やがん細胞を撃退する。

RBS米ぬか多糖体のパワーは、それだけではありません。活性酸素によって傷ついた細胞や血管を、速やかに修復する作用にも長けています。

RBS米ぬか多糖体は、水よりも白湯でとることをお勧めします。消化管を温めることで、効果が高まるからです。

大事なことは、病気になることから治すのではなく、病気を寄せつけない体をつくること。そのためにRBS米ぬか多糖体は、大いに利用価値がある食品といえるでしょう。

### 体験談

「RBS米ぬか多糖体」のおかげで  
中断した抗がん剤注射を再開でき  
前立腺がんの治療を乗り越えられた

65歳  
川瀬元文

5年前、前立腺がんと診断されました。腰部と胸骨への転移も見つかかり、ホルモン療法と抗がん剤治療を始めました。

毎日の飲み薬、そして月に1回のホルモン注射と抗がん剤注射で、腫瘍マーカーのPSA値が

122から77に下がりましたが、薬の副作用なのか倦怠感や吐き気がひどく、また白血球が著しく減少し、抗がん剤は一時中断せざるをえなくなりました。

白血球は抗がん剤をやめれば徐々に回復してくるのことでしたが、体力が目に見えて落ち、痛みは増していたので、どうしたら

よいものかと落ち込んでいました。そんなときに病院で知り合った人から「RBS米ぬか多糖体」を教えてください、ホルモン剤と併用してとり始めたのです。

2週間くらいたったころから、痛みやだるさが軽くなり、1ヵ月後にはPSA値も12に低下。RBS米ぬか多糖体の摂取で体力が付き、ホルモン剤の効果が十二分に発揮されたようです。

その後、抗がん剤も再開されましたが、心配していた副作用は以前より数段軽く、食欲も落ちることなく過ごすことができました。治療を始めて1年半後、病巣の組織培養の結果、ほぼ寛解と診断されたのです。

抗がん剤治療を乗り越えられたのは、RBS米ぬか多糖体で体力を向上させた賜物と、そのすごさを改めて実感しました。



「すごさを実感しました」

昭和大学医学部卒業。同大学医学部講師を経て、1990年に医療法人健身会を設立。病気の早期発見、早期対応による発症予防医学の重要性を提唱。心身医学療法も行い、トータルヘルスの確立に努めている。  
※米ぬか多糖体免疫研究会 (http://rbsnuka.com)

医療法人健身会「南越谷健身会クリニック」  
院長 医学博士 周東 寛